

FIC オープンセミナー（法政大学 国際文化学部セミナー）

持続可能な地域創生と「人づくり」の課題 ～田舎・在所の教育力～

近年、各地でさまざまな「地方創生」の取り組みが行なわれている。これまで、「人づくり」の重要性について語られることはあまりなかった。本シンポジウムでは、地元学の視点から南信州泰阜村で行なわれている行政・自然学校・学校教育・NPO・企業等による地域づくりをふまえて、持続可能な地域創生の方法とNPOの運営戦略、その中における「人づくり」の意義と、地域のNPOと大学連携のコンテクストでの高等教育での「持続可能な社会作りのための教育」について議論を深める。

辻氏が代表理事を務めるNPOは、村内での住民活動を重視する。彼らの活動の一つである山村留学「暮らしの学校 だいだらぼっち」は、1年間小学生、中学生の子どもたちをあずかり、子どもたち自身が決めた毎日の生活を山村で行うものである。

今年度は、SJ期間内の9月5日（月）－6日（火）に、このNPOを訪れ、山村留学中の児童達と留学生の意見交換/異文化交流を行います。

◆日時：2016年6月22日（水）15:20～16:40

◆場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 富士見坂校舎 F407 教室

（最寄り：南北線・有楽町線 市ヶ谷駅 出口5）

【地図】<http://www.hosei.ac.jp/campus/ichigaya/ichigaya.html>

◆報告者：辻 英之 氏/NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター 代表理事

◆参加料：無料

◆主催：法政大学国際文化学部 ◆共催：NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター

◆問い合わせ先：法政大学国際文化学部 jkokusai@hosei.ac.jp

辻 英之 氏 プロフィール

特定非営利活動法人 グリーンウッド自然体験教育センター 代表理事

<http://www.greenwood.or.jp/index.htm>

1970年、福井県生まれ。人口1700人泰阜村に移住して23年。「何もない村」における「教育」の産業化に成功した。村の暮らしの文化に内在する教育力を信じぬき、関わる人々全てに学びがある質の高い教育を提供しつつ、泰阜村総合戦略推進官として「教育立村」の実現に向けて奔走する。また、立教大学・九州大学・名古屋短期大学・飯田女子短期大学非常勤講師など「教育立村」をテーマとした講演・講義をする他、全国各地の「ひとづくり×地方創生」のアドバイスなどに全国を飛び回る。著書に「奇跡のむらの物語 1000人の子どもが限界集落を救う！」（2011年 農文協）。文部科学省山村留学研究会委員、長野県森林審議委員、長野県森林保全検討委員、長野県生涯学習審議会副会長、長野県スポーツ振興審議会委員、中部環境事務所EPO運営委員、ESD-J理事などを歴任。